

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市有財産利活用事業		所管課【2】	管財課
			評価者(担当者)	藤森竜也
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥みんなで進める協働のまちづくり		
	主要施策(節)	(5)行財政運営の効率化		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(4)行政施設の整備と有効活用		
<input checked="" type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 地方自治法、普通財産の利活用に関する要綱 】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 市有財産利用計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的的事业 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 2 項 1 目 5 細目 7			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	将来的に利用価値が無い市有財産については、売却や貸付け等を行い、市有財産の適正化を図る必要があるため。
対象(誰、何に対して) 【9】	市有財産
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	市有財産の有効活用のため、求めに応じて適切な払い下げを行い、財源(歳入)の確保を目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】	
事務事業の具体的内容 【14】	「玉名市普通財産の利活用に関する要綱」に基づき、「市有財産利用計画」を定め、他の目的での再利用、売払い、貸付、保有、継続検討に分類し、売払いとしたものについては、一般競争入札による売払いを実施している。	事務事業を構成する細事業 【15】
		① 市有財産払い下げ事業
		② 市有財産賃借事業
		③ 岱明支所大規模改修事業
		④
⑤		

《事務事業実施に係るコスト》

			H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	4,092	9,135	813	6,298	
	【16】 小計	4,092	9,135	813	6,298	0	
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			0	0	0	0	
職人 員 の 費	職員人工数		0.30	0.65	0.65	0.65	
	職員の年間平均給与額(千円)		5,610	5,424	5,424	5,424	
	【17】 小計		1,683	3,526	3,526	3,526	
合計			5,775	12,661	4,339	9,824	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 市有財産払い下げ事業	普通財産の用地払い下げを行う。	売払い・契約件数	件	9	12	10	10
② 市有財産賃借事業	普通財産の用地貸付を行う。	契約件数	件	53	20	19	19
③ 貸明支所大規模改修事業	支所庁舎2階及び3階の空きスペースを改修して利活用する。	空きスペースにおける利活用面積の割合	%			0	0
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
				H24実績	H25実績	H26実績	
1	貸付け及び払い下げ金額	土地貸付及び払い下げ等に係る収益の合計	千円	10,000	10,000	10,000	10,000
				36,798	239,400	7,361	
2	利活用となった面積	未利用財産のうち利活用となった面積の合計	m ²	5,000	5,000	5,000	5,000
				5,762	27,462	10,335	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	貸付、払い下げに伴う歳入が見込まれなくなる。不要財産が増え、経費を要する。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) C	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	H26年度は、売却まで至る物件がなかったため、目標金額は達成できなかった。用途を限定した入札を実施するなど、物件によっては成果向上の余地がある。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	具体的に財産の洗い出しや要綱の整備、適正価格を決定した中で、積極的に有効な利活用を図る。また、物件によっては適切な用途となるよう、用途を限定した入札も検討する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	売却、貸付が可能な対象物件であっても、地元住民の利用に供するものは地元利用優先とするなど、柔軟な対応に努めている。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	公共施設適正配置計画に基づき、廃止となる跡地については、有効・有益な利活用を図る。	評価責任者 仲山裕貴
------------------	---	---------------